نبـذة عــن الإســلام

(باللغة اليابانية)

ダールッサラーム

出版販売

リヤド、サウジアラビア

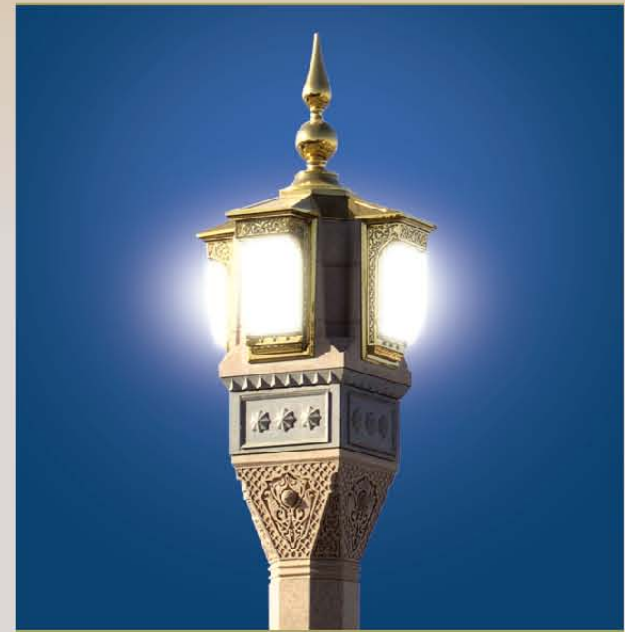
イスラーム概観

編成

ダールッサラーム研究調査部

ダールッサラーム

ダールッサラーム

出版販売
リヤド、サウジアラビア

イスラーム概観

編成
ダールッサラーム研究調査部

ダールッサラーム

イスラーム
概観

編成

ダールッサラーム研究調査部

ダールッサラーム

出版販売

リヤド、サウジアラビア

ALL RIGHTS RESERVED © جميع حقوق الطبع محفوظة

First Edition: March 2007

Supervised by:
Abdul Malik Mujahid

P.O. Box: 22743, Riyadh 11416 K.S.A.Tel: 00966-01-4033962/4043432 Fax: 4021659
E-mail: darussalam@awalnet.net.sa, riyadh@dar-us-salam.com, Website: www.dar-us-salam.com

K.S.A. Darussalam Showrooms:
Riyadh
Olaya branch: Tel 00966-1-4614483 Fax: 4644945
Malaz branch: Tel 00966-1-4735220 Fax: 4735221
- **Jeddah**
  Tel: 00966-2-6879254 Fax: 6336270
- **Madinah**
  Tel: 00966-503417155 Fax: 04-8151121
- **Al-Khobar**
  Tel: 00966-3-8692900 Fax: 8691551
- **Khamis Mushayt**
  Tel: 00966-50010328

U.A.E
- **Darussalam, Sharjah U.A.E**
  Tel: 00971-6-5632623 Fax: 5632624
  Sharjah@dar-us-salam.com.

PAKISTAN
- **Darussalam,** 36 B Lower Mall, Lahore
  Tel: 0092-42-724 0024 Fax: 7354072
- **Rahman Market, Ghazni Street**
  Urdu Bazar Lahore
  Tel: 0092-42-7120054 Fax: 7320703
- **Karachi,** Tel: 0092-21-4393936 Fax: 4393937

U.S.A
- **Darussalam, Houston**
  P.O Box: 79194 Tx 77279
  Tel: 001-713-722 0419 Fax: 001-713-722 0431
  E-mail: sales@dar-us-salam.com
- **Darussalam, New York** 486 Atlantic Ave, Brooklyn
  New York-11217, Tel: 001-718-625 5925
  Fax: 718-625 1511
  E-mail: darussalamny@hotmail.com

U.K
- **Darussalam International Publications Ltd.**
  Leyton Business Centre
  Unit-17, Etloe Road, Leyton, London, E10 7BT
  Tel: 0044 20 8539 4885 Fax:0044020 8539 4889
  Mobile: 0044-7947 30 6 706
- **Darussalam International Publications Limited**
  146 Park Road,
  London NW8 7RG Tel: 0044- 207 725 2246
- **Darussalam**
  398-400 Coventry Road, Small Heath
  Birmingham, B10 0UF
  Tel: 0121 77204792 Fax: 0121 7724345
  E-mail: info@darussalamuk.com
  Web: www.darussalamuk.com

HONG KONG
- **Peacetech**
  A2, 4/F Tsim Sha Mansion
  83-87 Nathan Road Tsimbatsui
  Kowloon, Hong Kong
  Tel: 00852 2369 2722 Fax: 0085223692944
  Mobile: 00852 97123624

MALAYSIA
- **Darussalam International Publication Ltd.**
  No.109A, Jalan SS 21/1A, Damansara Utama,
  47400, Petaling Jaya, Selangor, Darul Ehsan, Malaysia
  Tel: 00603 7710 9750 Fax: 603 7710 0749
  E-mail: darussalam@streamyx.com &
  darussalam malaysia@yahoo.com

FRANCE
- **Editions & Librairie Essalam**
  135, Bd de Ménilmontant- 75011 Paris
  Tél: 0033-01- 43 38 19 56/ 44 83
  Fax: 0033-01- 43 57 44 31 E-mail: essalam@essalam.com

AUSTRALIA
- ICIS: Ground Floor 165-171, Haldon St.
  Lakemba NSW 2195, Australia
  Tel: 00612 9758 4040 Fax: 9758 4030

SINGAPORE
- Muslim Converts Association of Singapore
  32 Onan Road The Galaxy
  Singapore- 424484
  Tel: 0065-440 6924, 348 8344 Fax: 440 6724

SRI LANKA
- Darul Kitab 6, Nimal Road, Colombo-4
  Tel: 0094-1-589 038 Fax: 0094-74 722433

INDIA
- Islamic Dimensions
  56/58 Tandel Street (North)
  Dongri, Mumbai 4000 009,India
  Tel: 0091-22-3736875, Fax: 3730689
  E-mail:sales@IRF.net

SOUTH AFRICA
- Islamic Da`wah Movement (IDM)
  48009 Qualbert 4078 Durban,South Africa
  Tel: 0027-31-304-6883
  Fax: 0027-31-305-1292
  E-mail: idm@ion.co.za

慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において

﴾ 本当にアッラーの御許の教えは、イスラームである﴿
（クルアーン3：19）

﴾ イスラーム以外の教えを追求する者は、決して受け入れられない。そして来世においてこれらの者は失敗者の類である﴿（クルアーン3：85）

この本で使用されている記号の意味：

アラビア語方式	記号	日本語訳
عزوجل	عزوجل	偉大にして荘厳なるお方なり！
صلى الله عليه وسلم	صلى الله عليه وسلم	彼にアッラーの平安と祝福あれ！
عليه السلام	عليه السلام	彼に平安あれ！
رضى الله عنه	رضي الله عنه	アッラーが彼を御満悦になりますよう！
رضى الله عنها	رضي الله عنها	アッラーが彼女を御満悦になりますよう！

はじめに

この本は、自由な思想と寛大な精神をお持ちのみなさまに是非読んでいただきたい「メッセージ」です。真実を追い求める人であれば、イスラームとは何なのかとか、神さま（アッラー）とは誰のことでどういう存在なのかとか、もしくは何が究極的な人間の存在意義で、生きるということの意味なのだろうか・・・？などということを一度は考えた事があるかもしれません。その他このような沢山の疑問は様々な機会に浮かび上がってきますが、色々な理由で払いのけられ、無視されてしまいます。

イスラームは特に西洋諸国で顕著に誤解され、事実歪曲されてきた宗教です。「この事実は、ほとんど驚くに値しません」とフランス人作家のモーリス・ブカイユ博士は彼の著書「聖書、クルアーンと科学[1]」の序文で異議を唱えます。

実に何世代もの西洋人が、人類が直面する宗教的問題の中で教訓を受けてきたにも関わらず、イスラームに関する知識は依然欠如している現状を自ら認めているのです。

そうした中、イスラームの概念は大多数の非ムスリム（イスラーム教徒）にとって、不明瞭なままであり続けています。

本書であなたの知りたいと思っている事柄の全てを知る事は出来ないかもしれません。しかしこの本の中にある知識はあなたの考え方に新しい次元を与え、この広大な宇宙の中での「人間」としてのあなたの役割、更にはあなたと、あなたの創

---

[1] この本の原本はフランス語で書かれたもので、La Bible, Le Coran et la Science （パリ、Seghers 出版、1976 年）と題されています。初出の英語版は、The Bible, the Qur'an and the Science としてアラステヤー D. パンネル氏および著者より翻訳されています。（インディアナポリス：アメリカントラスト出版、1979 年）

造主にして唯一神である全能者アッラー（ﷻ）との関係の重要性を認識させてくれるでしょう。また、本書の役割はイスラームを簡潔に説明し、イスラームに対する沢山の質問に単刀直入に答え、かつイスラームの信憑性を証明するものなのです。

　本書を読むことによりあなたはアッラー（ﷻ）、かれの最後の啓典、かれの最後の預言者たち、使者たち、イスラーム、人間の現世での役割、その他の関連事柄を学ぶ事が出来るでしょう。

　最後に、クルアーン唯一の言語はアラビア語のみであり、「日本語版のクルアーン」というものがあるなどという誤解をされないように喚起させて頂きたいと思います。一方クルアーンからの引用や預言者の言行の本書上での日本語の引用は“アッラー（ﷻ）はこう仰られました”や、“預言者（ﷺ）はこう言われました”となっていますが、その日本語での表現は単に一般的な意味を翻訳しているに過ぎないのです。

アブドゥル・マーリク・ムジャーヒド

ダールッサラーム総責任者

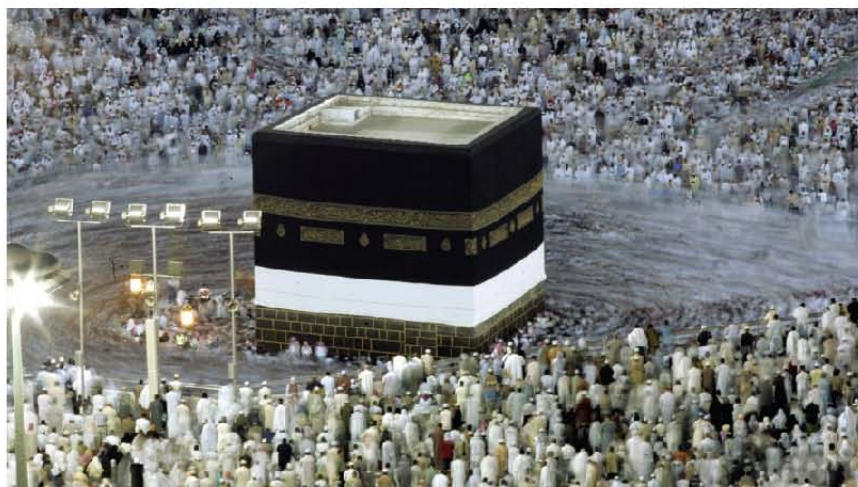
アッラー（ﷻ）とは？

‘アッラー’とは、唯一かつ真実の神に対しての適切な固有名詞であり、かれの美名とその完全な属性の全てを含む言葉です。アッラー（ﷻ）とは、絶対無比にして唯一の存在なのです。かれには子も、仲間も、同等の存在もありません。かれはこの宇宙の単独の創造者であり、維持者なのです。全ての創造物の存在はかれの唯一性、神性、主性(ルブービーヤ[2])、更にはかれの美名と属性の独自性を証明しています。かれの本質は、他のどの本質とも似通うことはありません。かれの他に、かれと同様のものが存在するという事も一切ありません。かれはまさに唯一で、単独であり、分離することがありません。

かれは主であり、かれ無くしてはいかなる事柄も遂行されることなく、それゆえ究極の主性がかれに属しているのです。かれはお生まれになったのでもなく、お産みすることもありません。かれは何事にも含まれていることもなく、何事もかれに含まれることはありません。

実に全ての創造物はかれを必要とすることで共通しますが、かれは何事も必要とすることはありません。

2 ‘主権’はアラビア語で、「ルブービーヤ」という言葉になります。‘主’を示す「ラッブ」という言葉から派生しており、「創造主」や、「養育者」という意味を暗示していて、かれにより生と死は司られているという事です。

アッラー(ﷻ)は全知全能であり、その知識は最も完全な形であるため、かれは顕わなもの・秘められたものに関わらず全てを認識されます。またかれは、かれの創られた創造物が考えうる偉大さというものよりも遥かに偉大なのです。アッラーは至高にして全ての主であり、われわれはかれにすべての事柄を、かれの思うままに委ねているのです。かれは慈悲深く、全てはかれの限りない慈悲に包み込まれています。かれは不正や暴政からも無縁です。この整然とした宇宙はかれの公正さにより秩序をもたらされています。かれの主権は何者にも分けられる事はなく、創造物からの支持や援助を受けることもありません。かれは全宇宙の主なのです。

かれは 7 つの天の上におられ、かれの荘厳さと威厳さに適した形で玉座に就いておられるのです。

聖クルアーンとは？

啓典クルアーンはアッラー（ﷻ）の直接の御言葉です。創造物ではありません。ムハンマド（ﷺ）が天使ガブリエルにより伝達されたクルアーンの節を記憶し、その場に居合わせた教友たちの前で朗読し、ただちに記録させたのです。ムハンマド（ﷺ）は啓示された内容の複写を彼の家に保管していました。それはアッラー（ﷻ）の諸啓典の最終版であり、23 年間に渡って徐々に啓示されました。クルアーンは、それぞれ違う長さの 114 章（スーラ）から成っています。

これらに含まれている教えはイスラームの最も重要で根本的なものです。クルアーンの中にある章は、マッカ（メッカ）で啓示されたものと、マディーナ（メディナ）で啓示されたものの2種類に大きく分けられます。

マッカにおいて啓示された章や節は、主に唯一神信仰やアッラー（ﷻ）の存在を証明する数々の証、審判の日における全人類の復活、また復活と死後の世界など信仰原理（アキーダ）に関しているものです。アッラー（ﷻ）は唯一である、と強調するイスラームの信条は、アッラー（ﷻ）が人類の祖アダムを初めとしてムハンマド（ﷺ）で完結した、これまで人類に遣わされた全ての預言者と使徒のメッセージの重要な焦点なのです。マディーナにおいて啓示されたものは、崇拝行為やわれわれの人生の中での日常生活に関してのありとあらゆる事柄などが含まれています。

聖クルアーンの信憑性

これまで歴史上、イスラーム諸国がクルアーンに対してしてきたように手厚く啓典を扱い、管理し、保存をしてきた国は他にありません。クルアーン以前に啓示された啓典と違い、クルアーンはその内容に手を加えたり、変更をする恐れのある特定のムスリム集団や部族などの手によって保管されてきた訳ではありません。むしろ全てのムスリム達の手の届くところに存在してきたのです。ムスリムは、日々の礼拝の中でのクルアーン朗読を義務付けられ、全ての議論・論争の際にはそこに最終的な判決を求めます。クルアーンは預言者（ﷺ）がまだ生存中、全暗記をしている人々もいる中で編成されました。アッラー（ﷻ）は、われはクルアーンを保護する、と自ら明言して約束されています。クルアーンは審判の日まで保護されることを約束されているのです。今日のムスリムたちは、預言者ムハンマド（ﷺ）と彼の教友たちが生きていた時代に読まれ、朗読されていたものと全く同じクルアーンの原文を読み、朗読しているのです。たった 1 つの文字でさえ追加も、削除もされていません。モーリス・ブカイユ博士は彼のクルアーンの研究後、こう結論付けています：

> これらの疑う余地のない信憑性のおかげで、クルアーンの原文は今まで啓示されてきた啓典の中でも特別の位置を占めています。[3]

---

[3] 外科医であるモーリス・ブカイユ博士は、クルアーンの科学的側面に大きな関心を寄せていました。彼はアラビア語を学び、クルアーンを原文で研究をすることに成功しています。彼はその中の正確な科学的情報に驚愕し、研究を重ねた結果、イスラームに改宗しました。

クルアーンの奇跡

至高なるアッラーはアラブ人、非アラブ人を問わず、クルアーンに匹敵するような文章を製作してみるよう挑まれました[4]。この挑戦は 10 句のみに軽減されましたが、誰も太刀打ちできませんでした。最後にアッラー（ﷻ）は彼らにたった 1 つの句でもいいからクルアーンに匹敵するような文章を作ってみる様、挑まれました。その当時のアラブ人たちは、とても雄弁で修辞学に秀でていましたが、この挑戦に関しては全くの無能さを露呈したのです。彼らはその時、これらが宇宙の主であるアッラー（ﷻ）からもたらされたもの以外の何物でもないと悟ったのです。

アッラー（ﷺ）の使徒ムハンマド（ﷺ） がもたらした奇跡と彼以前の使徒たちがもたらした奇跡はいずれも、彼らの正直さを立証するものであったわけですが、両者の間には違いがあります。つまり後者の奇跡は彼らの生存期間中のみ証明できた類のものですが、前者の奇跡であるクルアーンは、これまでも、そしてこれからも有効かつ不滅であり、審判の日まで確固と継続するものなのです。

包括的律法としてのクルアーン

クルアーンは神の法（シャリーア）の源泉として、実践面における最も包括的なイスラームの概念を構成しています。なぜ包括的かというと、法律のみではなく全てのムスリムが同意

---

[4] 当時の不信仰者たちの中には、クルアーンがムハンマドの捏造であるとか、他の者が彼に教えているのだとか主張する者たちがいましたが、それでアッラーは弁舌や詩作や修辞に富んだ当時のアラブ人たちにこう挑んでみせたのでした。それにも関わらず、実に当時の誰一人としてそれが出来る者がいなかったどころか、自分がそれを作ったのだ、と主張する者すら現れませんでした。

すべき倫理的原理・信条などが含まれているからです。イスラームのシャリーアはムスリムだけの為のものではなく、時代を問わず全人類に適しているものなのです。イスラーム法はアッラー（ﷻ）に対する私的、公的義務に大まかな輪郭を与えることにより、人間の行うべき行動を制定するものなのです。

人間の作成した法律はたびたびの変更を必要とし、人間の理論をもとに作られています。新しい議会や立法者による統治が始まったり、新しい理論が出現したり、それが人々の気に入ったりするたびに法律というものは状況に応じて変化します。一方、神の法は制定者が不死・不滅である神であるため、不変であり永久なのです。かれこそが人間を創った創造者なのであり、そして終末の日までの人間の全ての必要を満たすものを定められたのです。こうした理由により、預言者の封印であるムハンマド（ﷺ）に啓示された最終啓示であるクルアーンが、これまでの諸啓典を超越することになるのです。

クルアーンに記されている数々の予言は、その文字どおり実現しています。アッラー（ﷻ）は信仰し善行を行う者に対し、現世での確かなる成功を約束されています。実際に彼らは、数々の国にまたがる広大な土地を制しました。クルアーンは他にもローマ人のペルシャ人に対する勝利[5]を予言されました。アッラー（ﷻ）は仰られました：

﴾ 近接する地において、ローマの民は打ち負かされた。だが彼らは敗北の後、数年の内に勝利するであろう。以前の物事もこれからの物事も、全てはアッラーに属する。その日信仰者たち（ムスリムたち）は喜ぶであろう（アッラーにより勝利を授けられたローマ人がペルシャ人に対し勝利したことに）。﴿（30：2−4）

クルアーンを客観的視点をもって読む人は、これらの予言が推測や憶測の域からはほど遠いことを実感するでしょう。というのもこれらを啓示したお方は、全ての出来事の運命を復活の日まで定められているからです。

[5] この予言に関する言及は、クルアーン第 30 章「ビザンチン章」の冒頭にあります。それはつまり西暦 614 年にペルシャ人とローマ人の間に戦争が起こりローマ人が敗北しましたが、その 8 年後にはローマ人がペルシャ人を破り返したという歴史的事実に関するものです。クルアーンの中では、ローマ人の勝利は彼らが敗北した“8 年後”とまで具体的には示されてはいませんが、「3〜9 年の内に」（30：4）彼らが勝利するという記述があります。当時のローマ人はキリスト教を奉じ、ペルシャ人は多神教を奉じていたため、同じ啓典の民でマッカの多神教徒と敵対していたムスリムたちはローマ人の勝利を喜んだのでした。

聖クルアーンと科学

ムハンマド（ﷺ）は文盲でした。彼は学校など存在しなかったマッカ（メッカ）で育ち、読み書きを知りませんでした。彼は当時科学が盛んだったシリア、アレキサンドリア、アテネ、ローマなどとはかけ離れた環境で暮らしていたのです。更には、クルアーンの中で述べられている科学的事実は当時の、つまり西暦 7 世紀においてはまだ知られていませんでした。アラビア語のクルアーン原典を研究、調査したブカイユ博士は驚嘆し、こう述べました：

> 私はクルアーンの中から、たったひとつの誤りも見つけ出すことが出来なかった。私はその手を止め、こう自分に問いかけた。もしクルアーンが人間により書かれたものであったなら、どうやって近代科学においてようやく明らかになってきている事実を西暦 7 世紀の時代において書くことができたのだろう、と。私は目の前にある証拠を認めざるを得なかった。クルアーンには近代科学の観点から非難できるような記述がひとつも無かったのである。私は同様の客観的視点を常に維持したまま、同じテストを旧約聖書と福音書においても行った。そして前者に関しては第一巻を読み終えるまでもなく、近代科学による堅固なる事実から完全に逸脱した記述を発見したのである。[6]

ブカイユ博士は宇宙の起源、天文学、動植物界、人間の生殖やその他関連事項に関してクルアーンの中で言及されている、数々の科学的事実を研究しました。この小冊子の客観性に対する読者の方々の注意を喚起すべく、上記の内の 2 つの問題を次に、簡潔に述べてみましょう。

---

[6] 「聖書、クルアーンと科学」、120 頁

天と地の創造

宇宙の起源に関する人間の知識というものは非常に限定されています。科学者たちはひとつのテーマに沿った進化の仮説と理論を主張しています。それは、原始火球と原初期の物質、反物質というものです。

仮説によれば、宇宙は主に強い相互作用のある粒子によって構成されていました。原初の物質と反物質とは、ブリタニカ百科事典によると、次第に殲滅をし合った、と記載されています。そのなかから残存した粒子により現在の宇宙は形成されました[7]。原始宇宙の形成の過程はクルアーンの中で簡潔に述べられています。アッラー（ﷻ）はかれの使徒ムハンマド（ﷺ）に、不信者たちに対しこう問いかけるよう命令されました：

[7] ブリタニカ百科事典、(第15版)、マクロペディア、18巻、1008頁

❴（彼等に）言ってやるがいい。「あなたがたは、二日間で大地を創られたかれをどうして信じないのか。しかもかれに同位者を立てるのか。かれこそは万有の主であられる。」そしてかれは、そこに山々をどっしりと（大地の上に）置いて祝福なされ、更に四日間で、その中の凡ての求めるものに応じて、御恵みを規定なされた。それからまだ煙（ガス状）であった天に転じられた。そして天と地に向かって、「両者は、好むと好まざるとに関わらず、われに来たれ！」と仰せられた。天地は答え、「わたしたちは喜んで服従します。」と申し上げた。そこでかれは、二日の間に七層の天を完成なされた。そしてそれぞれの天に命令を下し、最も低い天に光を授け、守護した。これは，偉力ならびなく全知なる御方の定めである。❵（41：9－12）

また、アッラー（ﷻ）は仰られました：

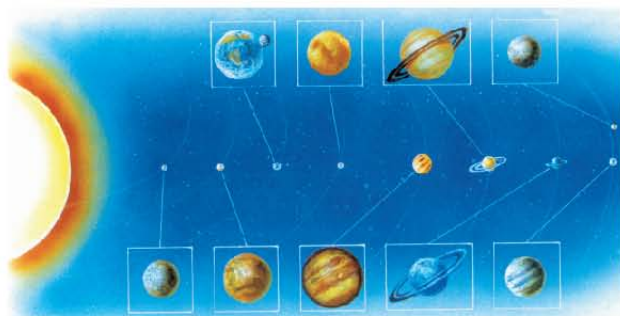
❴ 信仰しない者たちは分らないのか。天と地は、一緒に合わさっていたが、われはそれを分けた。そして水[8]から一切の生きものを創ったのである。彼らはそれでも信仰しないのか.❵(21：30)

[8] この節はダーウィンの進化論を立証するものと誤解されることがありますが、この節の真に意味するところは、アッラー（ﷻ）が宇宙を現在の状態に構成するにあたって、全ての生命体の主な要素として水をお選びになったということなのです。

この、ひとつの物質が 2 つやそれ以上に分割されるという概念や、天体の“煙”という先に示した情報は、事実に基づく科学的なものです。ブリタニカ百科事典には他にも英国人物理学者で、天文学者でもあるジェームズ・ジーンズ卿の次のような発言が記されています：

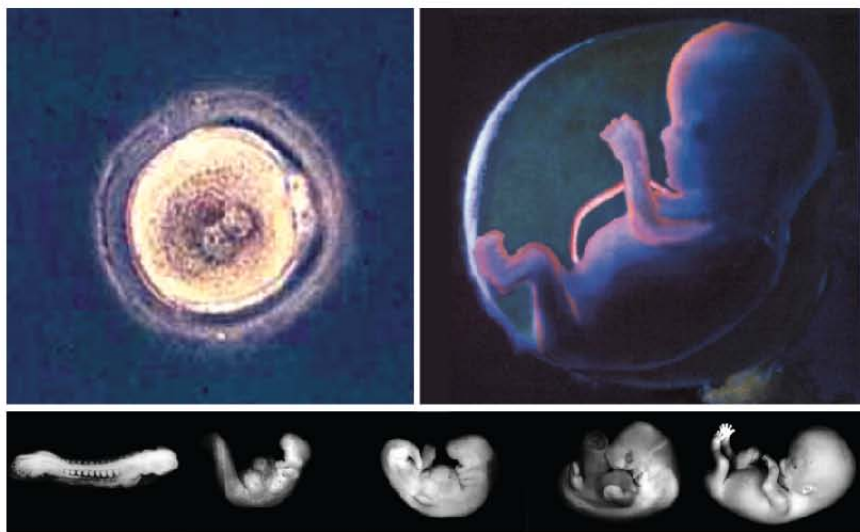
> “我々はニュートンが最初に推測したように、非常に広範囲のおよそ均一である密度の中では、無秩序なガスの集合体は力学的に不安定であるということを発見しました。つまり全ての物質が結果的に凝縮され、その中心に核が形成される傾向があります。”この仮説を基盤として、彼は全ての天体物質は分裂の過程を起源としていることを発案しました・・・[9]

言うまでもなく、これまでの宇宙計画によって月や地球、更には他の惑星の形成物質は同質であると発見されました。「実にこの創造に関するそのものの記述は、クルアーンの中において 14 世紀近く以前に既に示されているのです。」ブカイユ博士は更にこう結論付けました。「これらの事実を、人間は説明することが出来ません。」[10]

---

[9] ブリタニカ百科事典（第 15 版）、マクロペディア、18 巻、1009 頁
[10] マクロペディア、18 巻、1008 頁

人の生殖に関する詳細

人間の生殖機能の詳細が解読され理解されたのは、最も複雑な科学的・医学的な機器が 開発されたムハンマド（ﷺ）の死後数百年もの後でしたが、それにも関わらずクルアーンの中には人間の胚［胎児］の発達段階に関する言及があります。アッラー（ﷻ）は仰られました：

﴾実に、われは泥の精髄から人間を創った。次にわれは彼を精液の一滴として、堅固な住みかに納めた。それからわれは、その精滴を一つの血の塊に創り、次にその塊から（人体の）肉塊を創り、次いでその肉塊から骨を創り、次に（完全な）肉でその骨を覆い，それから彼を他の（形の）生命体に創り上げた。アッラーに称えあれ、かれは最善の創造者であられる。﴿（23：12－14）

科学的に証明されているように、人の生殖における段階は：

1．卵子の受精が、男性精子という動因により卵管で起こります。

2．受精卵の挿入が、女性生殖器内のある一定の正確な位置において起こります。これが子宮に降りて行き、子宮内に留まります。胚が肉眼で見えるようになった時点において、それは小さな肉塊のように見えます。そしてそこで現在非常によく知られている発達段階に沿って、段階的に成長していきます。それらは骨格、筋肉、神経、循環系、内蔵などの組織形成です。[11]

ブカイユ博士はこう確信して締めくくっています：

われわれの時代から千年以上も前、風変わりな教義がまだ広く敷衍していた時代に、人間はクルアーンの知識を授けられた。その中に含まれている記述には、人間が何世紀もかけてようやく発見した根本的重要性の真実が、簡潔な用語を用いて表されていたのです。[12]

[11] マクロペディア、18巻、1008頁

[12] ブカイユ、「聖書、クルアーンと科学」

ムハンマド（ﷺ）とは？

﴾ われは全世界への慈悲として、あなた（ムハンマド（ﷺ）を遣わしたのである。﴿（21：107）

ムハンマド（ﷺ）は、アッラー（ﷻ）から遣わされた一連の預言者、使徒たちの封印です。彼の本名はムハンマド・イブン・アブドッラーです。彼はマッカで西暦 570 年に誕生しました。預言者ムハンマド（ﷺ）は青年時代、最も優れた数々の社会的特性をその身に一身に集めていました。彼は人々の模範的人物で、申し分のない洞察力と思慮深さで知られていました。彼は的確な方法で正確に物事を判断し、独創的な思考力や知性にも恵まれていました。彼の長時間黙考する性癖は、彼の瞑想の習慣と真実の追究に大いに益しました。彼は明晰な頭脳と、純粋な性質を有し、それにより人生観、個人や集団、共同体などを理解、吸収していったのです。彼は迷信的な慣習を避けていましたが、有益で建設的な行動においては活発でした。無益で有害な諸事からは離れ、孤立することもありました。彼は飲酒することや、偶像崇拝の祭りに参加すること、それらの祭壇で屠殺された肉などを回避していました。

彼の生き様は、彼が非の打ち所のない性格を有し、かつ彼が理想的な男性像であるという事を証明していました。彼は最も同胞たちに対して親切に接し、最もその話す言葉において誠実で、かつ最も柔和な気質を持ち合わせた人物でした。彼は非常に心優しく、貞節であり、人々を親切にもてなし、またその敬虔な容貌で人々を常に感銘させていました。また彼は最も信頼をおかれていた者であり、約束は必ず最後まで守り通しました。彼のその素晴らしい評判によって、人々から「信頼のおける人、誠実な人」というあだ名で呼ばれていました。

彼によるこれらの印象は、人々の心を溢れんばかりの至福で圧倒し、満たすことにより認められました。人々のアッラーの預言者（ﷺ）に対する畏敬の念、尊敬や感謝の気持ちは特別で、他に類を見ないものでした。これほどまでに名誉があり、愛されている人間は世界中探しても彼以外にはいません。

彼をよく知る人々は､彼の魅力のとりこでした。彼らは彼の爪ひとつさえも誰かに傷つけられ、負傷させない為には命を犠牲にする事も厭いませんでした。彼は様々な面において誰も比肩することのない完璧さに恵まれていたので、教友たちは彼をかけがえのない人として愛していました。

アッラー (ﷻ) は天使ガブリエルを通してクルアーンの節を彼に啓示し、彼は40歳の時に預言者として任命されました。預言者 (ﷺ) は、アッラー (ﷻ) の唯一性を伝道し、多神教に対し警告することを命令されました。

マッカの多神教徒たちは彼に反対し､彼と彼の教友たちを厳しく迫害しましたが、それにより彼の信仰を揺るがすことも、彼の頑なさを曲げることも出来ませんでした。また彼の布教が更に沢山の人々によって受け入れられることも、押し留めることは出来なかったのです。結果的にマディーナ（メディナ）という町の大多数の住民がイスラームを受け入れたのを機に、マッカのムスリムたちはマディーナへと避難しました。後にアッラーの使者 (ﷺ) 自身もマディーナに移住し、そこに史上初のイスラーム国家を建設しました。その数年後にはマッカの多神教徒とその同盟者たちは拡大し続けるムスリムの勢力を前に屈服し、マッカは無血解放されたのです。預言者ムハンマド (ﷺ) の死後 30 年余りでイスラームは世界中へと拡散し､当時最大の帝国だったペルシャとローマに取って代わりました。

多くの西洋人学者や著名人は、預言者（ﷺ）の性格や態度に対し全く欠点や過失を認めることが出来ませんでした。彼らの内の何人かは、注目すべき研究をしています。ジョージ・バーナード・ショーはこう著しています：

> もし彼のような人物が現代世界において統率権を握ったならば、彼は人々に希求されている平和と幸福をもたらすようなやり方で、数々の問題を解決したことでしょう。事実ヨーロッパは徐々にムハンマドの信条に

魅了され始めています。来世紀には更にこの信条が、様々な問題解決に有益であることが認められるでしょう。[13]

ラマルティンは預言者（ﷺ）を称え、こう著しました。

成した事の偉大さ、そこにおける手段の小ささ、驚異的結果が人間の才能の三大基準であるなら、誰が近代歴史を通してムハンマド以外の偉人の名を挙げることができるでしょうか？[14]

インドの宗教家、政治指導者のマハトマ・ガンジーも預言者（ﷺ）に関してこう著しています：

当時のイスラームの普及は剣により広まったのではないと、私は今、これまでになく確信しています。堅固で明快な教え、預言者の徹頭徹尾の控えめな態度、誓約に関しての律儀さ、友人や教友たちへの非常な献身、彼の大胆さ、勇敢さと、神と自身の任務への絶対的信頼がそうさせたのです。彼は剣ではなくこれらによって、全てのそびえ立つ困難を乗り越えてきたのです。[15]

[13] 優秀な学者たちによる著述集、1935 年
[14] トルコの歴史、1855 年
[15] 若きインド、1922 年

イスラームとは？

イスラームは、全ての啓示宗教における最後の宗教です。この名前は、最後の巡礼の際に啓示されたクルアーンの章句に基づいています：

﴾今日われはあなたがたのために、あなたがたの宗教を完成し、またあなたがたに対するわれの恩恵を全うし、あなたがたの為の教えとして、イスラームを選んだのである。﴿（5：3）

イスラームは世界宗教の中でも最終の教えであり、今日12.5億人もの信奉者を擁しています。世界中の全ての国々には必ず、少なくともムスリム少数派が存在します。このようにイスラームは全世界に最も拡がりを見せている宗教というだけでなく、最も勢いがあり、過去数世紀においては例を見ないほどの早さで改宗者を引き付け、誕生させています。

アラビア語の単語「イスラーム」は「服従」という意味で、内面・外面ともにアッラー（ﷻ）のご意思に従いかれの法に順ずるという、ムスリムの原理的信条のことを指します。イスラームは西洋の世俗的ヒューマニストの使う狭義的意味合いの“宗教”ではなく、人類始まって以来預言者たちにより全ての民族に伝えられてきた、普遍的にして永久不変の宗教なのです。このイスラームという宗教は神の唯一性に関しては一切の妥協を許さないことと、その信条と崇拝行為を厳格に固守することに重きを置いています。そしてこのことによりムスリムは、アッラーのご命令に従い、かつ預言者、使徒たちの封印であるムハンマド（ﷺ）の模範的人生の手法を可能な限り踏襲することを求められています。

アッラー（ﷻ）が宇宙とその中に存在する万物をお創りになったのは、かれが唯一の神だと認めるようにする為なのです。かれが人間とジン[16]を創造されたのはただ単にかれを称え、崇拝させるが為です。アッラー（ﷻ）はこう仰られました：

﴾ジンと人間を創ったのは、われに仕えさせるために他ならないのだ。﴿（51：56）

崇拝の方法と形態は人間の自由裁量に委ねられているわけではありません。全ての崇拝行為やそれらの実践方法を命じ、規定するのはアッラー（ﷻ）なのです。なぜならイスラームは日常生活の精神的・肉体的事項の全てを網羅し、その社会・経済・政治法を取り扱うイスラーム法学は信仰教義や導き、崇拝行為や慣行に基づいているからです。

イスラームは完全なる人生の教えであるため、われわれの人格が洗練された基準に維持されることも要求します。アッラー（ﷻ）の使徒はこう言われました：

"実に、私が遣わされたのは人々の品行を洗練させる為なのだ。"

アッラー（ﷻ）はかれの使徒（ﷺ）の模範的な品行をこう称えられました。

﴾まことにあなたは、崇高なる徳を備えている。﴿（68:4）

アッラーの使徒（ﷺ）の妻であるアーイシャ（رضي الله عنها）は彼女の夫に関する品行について訊ねられ、こう答えました。

"彼の品行はクルアーンそのものでした。"

---

16 いわゆる霊的存在。

ここでアーイシャ（ﷺ）の意図したのは、預言者（ﷺ）は厳密にクルアーンに従い、その中で定められている規律、命令事項、禁止事項、そしてその全ての卓越した、美しく優雅な教えを実践していたということなのです。こうした理由によりアッラー（ﷻ）は信仰者に対し、模範的な人生を送ったかれの使者（ﷺ）に習うよう命じられました：

﴾本当にアッラーの使徒は立派な模範であった・・・﴿（33：21）

イスラームではあらゆる場面において、良い態度でもって表現された良い人格を要求されます。例えば挨拶の場面、着席する時、食事する時、学習する時、教育する時、運動する時、旅行する時、衣服の着替えをする時、訪問する時、就寝する時など、全ての折にそうすることが求められているのであり、特に家族と隣人には優しく接する事が要求されています。これらの洗練された立ち居振る舞いの規定は全て、クルアーンとアッラーの使徒（ﷺ）の慣例の中に見出すことができます。

家族関係はイスラームで高い位置を占めています。というのもそれこそが社会の核であり、健康な家族は健康な社会に帰結するからです。それゆえアッラー（ﷻ）は、両親を優しさと従順さでもてなすよう、こう仰られました：

﴾あなたの主は命じておられる。かれ以外の何者をも崇拝してはならず、また両親に孝行することを。もし両親かまたそのどちらかが、あなたと一緒にいて老齢に達しても、かれらに対し荒い言葉を使わず、親切な言葉で話しなさい。そして両親に対し謙虚にし、敬愛の情を込め、「主よ、幼少の頃私を愛育してくれた二人の上にご慈悲をお授け下さい。」と祈るのだ。﴿(17:23､24)

家族の次によい付き合いをしなければならないのは、親戚です。親類に対し親切にする者はアッラー（ﷻ）がその者に親切にし、親類との関係を断絶する者は、アッラーがかれのご慈悲をその者に禁じられるということを約束された、とアッラーの使徒（ﷺ）は言われています。

イスラーム信仰の柱

信仰について

ウマル（ﷺ）[17]はこう伝えています：

“ある日われわれがアッラーの使徒（ﷺ）と一緒に坐っていると、真っ白な服を身にまとい、真っ黒な髪をした男がやってきた。この男には旅をしてきたという様子は少しもなかったが、われわれの内の誰も、彼を知らなかった。彼は預言者（ﷺ）の前に、膝と膝をつきあわせて座り、両手を預言者（ﷺ）の両腿の上に置いた姿勢でこう訊ねた。「ムハンマドよ。イスラームについて説明願いたい。」するとアッラーの預言者（ﷺ）は答えた。「イスラームとは、アッラー以外に神はなく、ムハンマドはアッラーの使徒であると証言し、礼拝（サラート）を行ない、浄財（ザカート）を払い、ラマダーン月に斎戒（サウム）し、可能な場合に巡礼（ハッジ）を果すことです。」すると男はいった。「その通りだ。」（ウマル（ﷺ）は言った。「われわれは預言者にこのような質問をしつつ、その答えを是認する男に驚きの眼をみはった。」）男はまた訊ねた。「それではイーマーン（信仰）について説明して欲しい。」すると預言者（ﷺ）は答えた。「それはアッラーとそ

[17] ウマル・イブン・アル＝ハッターブ。第２代目正統カリフ。

の諸天使、かれの諸啓典と使徒たち、審判の日、それが善いことであれ悪いことであれ運命（カダー）を信ずる事です。」男は「その通り」と繰り返してから、また訊ねた。「それではイフサーン（信仰の極致）について話して欲しい。」彼は答えた。「それはあたかもアッラーが眼前におられるかのように、彼を敬い崇めることです。貴方が眼にしていなくとも、アッラーは貴方を見ておられるのですから。」そして男が「最後の審判の日はいつですか？」と訊ねると、預言者（ﷺ）は答えた。「その問題については，訊ねられた者も訊ね手以上に知っている訳ではありません。」男が更に「その時が到来するときの兆候について教えてください。」と訊ねると、預言者（ﷺ）はこう答えた。「奴隷女が女主人を産み、また貴方は、はだしで素っ裸の貧しい羊飼いたちが、競って豪華な殿堂を建てる姿を見るだろう。」そこで男は立ち去った。預言者（ﷺ）はそのまましばらくじっとした後、私にこう訊ねられた。「ウマルよ、いろいろものを訊ねたあの人が誰だか解るかね。」私は答えた。「アッラーとその使徒が最も良くご存知です。」すると彼は言われた。「あの方は天使ガブリエルだよ。お前たちにお前たちの宗教について教えるためにいらっしゃったのだ。」”（サヒーフ・アル＝ブハーリーとサヒーフ・ムスリム[18]より）

アッラーの使徒（ﷺ）は、イスラームは 5 本の柱から成っていると言われました：

1．信仰証言（シャハーダ）

[18] 両者ともに、預言者ムハンマド（ﷺ）の言行録をまとめたハディース集。この 2 つは数あるハディース集の中でも、最も信頼性の強いものと認知されている。

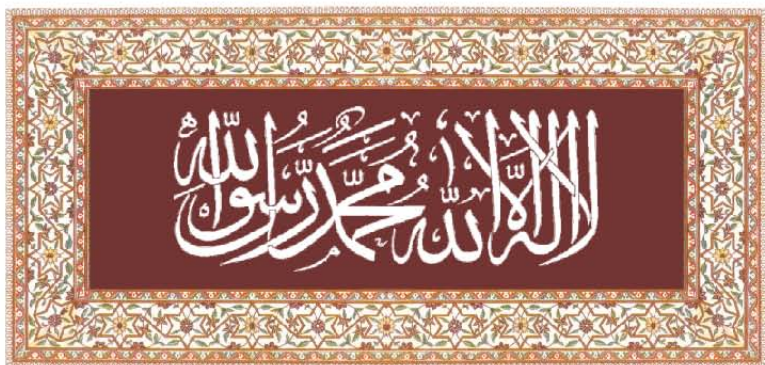
2．礼拝（サラート）

3．浄財（ザカート）

4．斎戒（サウム）

5．巡礼（ハッジ）

信仰証言（シャハーダ）

信仰証言はアラビア語ではシャハーダといい、イスラームに改宗する際には必ず唱えないとならない文句です。それは、「*ラー　イラーハ　イッラッラー、　ムハンマドゥッラスールッラー*」という文句で、「アッラーの他に真の神は無く、そしてムハンマドはアッラーの使徒である。」という意味です。これは、アッラー（ﷻ）以外のいかなるものをも崇拝する価値はなく、そしてその崇拝行為はかれの使徒ムハンマド（ﷺ）の教えにのみ則らなければならない、ということです。

礼拝（サラート）

アラビア語のサラートという言葉は、言語学的には祈願するという意味ですが、ここではクルアーンからの節やその他の所定の祈願句を唱えつつ行う、決められた身体的動作からなる祈りの行為のことを指します。

また礼拝は人間と彼の主、アッラー（ﷻ）との交流手段でもあります。人はこの中で、彼のアッラー（ﷻ）への愛と従順さを表現します。礼拝は信仰証言の次に重要な柱で、イスラームの背骨の部分とも言われます。

礼拝は崇拝行為の１つで、タクビール、すなわちアッラーフアクバル（アッラーは至大なり！）という言葉を口に出すことや、タスリーム、すなわちアッサラーム　アライクム　ワラフマトゥッラーヒ　ワ　バラカートゥフ（あなたにアッラーからの平安とご慈悲と祝福がありますよう！）という言葉などを伴いながら直立姿勢、立礼姿勢、平伏姿勢、座位姿勢などをとります。

礼拝は信仰者の光と考えられていて、罪を犯すことからの保護であり、過去に犯してきた罪への償いでもあります。

礼拝の重要さ

礼拝は全ての成人ムスリムに課されている義務であり、子供たちはそのやり方を 7 歳位から学ぶようになります。その年齢に達する前に子供が礼拝を始める場合もありますが、10 歳になれば礼拝をするように促されなければなりません。

正当で妥当な理由のない限り、定められた礼拝を定められた時期より遅らせることは禁じられています。預言者（ﷺ） はこう言われています：

“どのムスリムも定められた礼拝を行い、その前に洗浄（アラビア語で*ウドゥー*。身体の特定部を定められた形で洗浄すること）をし、立礼をし、平伏すものは、大罪を犯さない限り、過去の罪を抹消されるだろう。これは、その人の全生涯を通して適用されることなのだ。”

義務として定められた礼拝を拒否する者は、イスラームからの背教行為を犯していると見なされ、またそれを怠る者に関しては不信仰を犯していると見なされます。礼拝は預言者（ﷺ）が彼の奇跡の旅[19]で第 7 の天へと昇天した際、義務として定められました。

審判の日、人間が最初に訊ねられるのが、この礼拝をきちんと行っていたかどうかなのです。

礼拝は単に義務行為というだけではなく、毎日 5 回決められた時間帯の中で行われなければなりません。以下が、毎日 5 回の礼拝時間です。

[19] 預言者ムハンマド（ﷺ）がある夜、マッカからエルサレムまでブラークという生き物に乗って飛行し、そこから昇天して天使ガブリエルに伴われて過去の諸預言者・使徒たちと面会し、更にはアッラーとの間接的対面をしたという出来事。

1．夜明けの礼拝（*サラート＝アル＝ファジュル*）：義務の２セット（アラビア語で*ラクア*）から成っていますが、その前に２ラクアから成る、預言者（ﷺ）が常に行っていた礼拝（*スンナ*）が付随して行われます。この礼拝が行われるべき時刻は、夜明けの光が差し始めてから日の出までの間です。

2．昼の礼拝（*サラート＝アル＝ズフル*）：この礼拝は義務の４ラクアから成ります。この礼拝の前には、４ラクア（２ラクアを２度行う）が、そしてその後には２ラクアのスンナの礼拝があります。この礼拝は、太陽が中天を過ぎた時に始まり、次の礼拝である*アスル*（アラビア語で昼の後半という意）の開始をもって終了します。

3．午後の礼拝（*サラート＝アル＝アスル*）：この礼拝は義務の４ラクアから成り、直立した棒の影の長さがそれと同じ長さになる時をその始まりとします。この礼拝時刻は日没前まで続きます。義務礼拝の前に、４ラクアの任意の礼拝を行うことも可能です。

4．日没時の礼拝（*サラート＝アル＝マグリブ*）：この礼拝は義務の３ラクアから成り、その後２ラクアのスンナの礼拝を行います。日没時の礼拝は、地平線から日が沈み、夕暮れが見えなくなる時まで行うことが出来ます。

5．夜の礼拝（*サラート＝アル＝イシャー*）：一日５回の礼拝の内最後のものである夜の礼拝は、義務の４ラクアから成ります。その前後に行う２ラクアの任意の礼拝後、さらに３回、もしくは１回の礼拝（*ウィトル*）が続きます。これらは夜の空が完全に暗くなった時から、朝の光が差し出す前の時刻までに行われますが、夜中の内に済ませる事が薦められています。

義務の礼拝を行うのはひとりでも可能ですが、先導者（イマーム）によって導かれる集団での礼拝がよりよいとされています。各礼拝時刻前になると、礼拝への呼び掛け（アザーン）が行われます。

礼拝を行うには、洗浄（ウドゥー）をし、清浄な状態になる必要があります。ウドゥーには両手を洗ったり、鼻と口をすすいだり、洗顔をしたり、両腕を洗ったり、濡れた両手で頭部を拭いたり、両足を洗ったりするということが含まれています。

礼拝は、イスラームにおける最も重要な信仰の柱でもあります。それは人間が審判の日において最初に認めることのできる崇拝行為であり、もしアッラー（ﷻ）が個人の礼拝を受け入れられるのならば、その他の善行も認められることになります。[20]

喜捨（ザカート）

ザカートとは大まかに言うと、貧しい人などのために行う自分の財産からの寄付で、イスラームの第 3 の柱です。この財政制度は、アッラー（ﷻ）が全ての所有者であるという事実の認識の上に成り立っています。それゆえにかれは所有権の制定、富の獲得手段や消費方法を決定する権利があるのです。ザカートという言葉は元来、清浄や増加、増大を意味しますが、それはまたザカートを支払うことの意義でもあるのです。

これは特定の財産を、特定の状況にあるムスリムに対し支払うというもので、クルアーンでも下記のように説明されています：

﴾ 実に、施し（ここではザカートの意）とは、貧者、困窮者、これを収集する者、および心がイスラームに傾いてきた者のため、また身代金や負債の救済のため、

[20] 最後の審判の日、個々人はその行ってきたありとあらゆる行為を清算され、アッラー（ﷻ）による質疑を受けます。各人は自分の行いのみに責任を持ちます。来世における人生では永久なる至福か、永久なる苦痛かのどちらかなのです。

また アッラーの道のため、また旅人のためのものである。これはアッラーの制定である。アッラーは全知にして全能であられる。》(9:60)

ザカートは、それを施す者の心から吝嗇、卑しさ、貪欲さを取り除き、浄化します。それとともに同胞愛、友愛、相互扶助精神などを育てる社会福祉をムスリム間で実現させます。またザカートは、裕福層と貧困層の格差を慈悲と親善の精神により埋めるばかりでなく、アッラー(ﷻ)はそれに対して寛大に報酬を与えてくださいます。預言者(ﷺ)はこう言われました:

“ザカートの支払いをする者は、彼の財産の悪を払い除けるのだ。”

ザカートは年齢、性別、健康状態に関わらず、全てのムスリムが所有する財産から課されます。ザカートが課されるのは、以下のものです:

1. 金、銀、通貨 2. 家畜 3. 農産物 4. 商用品や資本
5. 財宝や鉱物資源

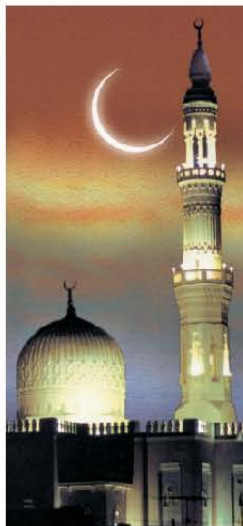
もしある人が、その人に課されているザカートを支払わずに死ぬと、その人の遺産からは相続人への分配前に、ザカートが拠出されなければなりません。

ザカートの支払いや他のイスラーム信仰の柱の否定は、背教行為と見なされます。至大なるアッラーはザカートの支払いを保留する者への厳しい懲罰を約束されています。

斎戒（サウム）

聖月ラマダーン[21]に行う斎戒である*サウム*は、イスラーム信仰第4の柱であり、これはアッラー（ﷻ）がヒジュラ暦[22]第2年目に制定されています。ラマダーンの斎戒遵守は全ての心身健全である成人ムスリムに課されています。ラマダーンの斎戒では、飲食や性交などを日の出前から日没まで1ヶ月間通して絶ちます。斎戒は忍耐力、許容力、自制心や、アッラー（ﷻ）への畏怖心の形成を養います。またその他にも恵まれない人々への同情心を養い、慈善による報酬を増大させます。

ラマダーン月の間は、天国の扉が開き、地獄の扉は閉められます。またラマダーン中には特別な一夜があり、この夜を発見すれば千ヶ月分に相当する報酬を得ることが出来ます。

斎戒はラマダーン月の新月が認められたら開始され、翌月のシャウワール月の新月が認められれば終了となります。ラマダーン終了の翌日には、*イード＝アル＝フィトル*が行われますが、これは直訳すると“斎戒明けの祭”となります。

もし誰かがラマダーン中に斎戒を一日、もしくはそれ以上の日数を正当な理由も無しに実行できなかった場合、ラマダーン後に同じ日数分の斎戒をやり直すことが求められます。

---

[21] ヒジュラ暦第9番目の月。ヒジュラ暦に関しては脚注22参照。

[22] 預言者（ﷺ）がマディーナへと移住した年（西暦622年）を元年とした太陰暦。

これらは斎戒を無効にする行為です。

* 斎戒時間中、故意に食べたり、飲んだり、性交を行ったりすること
* 月経、もしくは産後の出血
* 故意に嘔吐すること
* 献血などによって血を抜くこと

以上の内、いずれかに当てはまる行為を意図してではなく、忘れて行ってしまった場合、斎戒は無効とはなりません。

巡礼（ハッジ）

ハッジと呼ばれる巡礼は、イスラーム信仰第 5 の柱です。これは太陰暦のズル・ヒッジャ月[23]に行われ、マッカやそこに隣接する聖地での一連の諸行事から成っています。

ハッジは一生に一度行われるべきであり、全ての肉体的、経済的に余裕のある健全な成人ムスリムに課された義務です。アッラーの使徒（ﷺ）はこう言われています：

23　ヒジュラ暦 12 月。

“性行為や悪行などによって規律を破る事なくハッジを完遂した者は、母親が彼を生んでくれた日のような状態（つまり赤ん坊のような罪の無い状態）に還るであろう。”

他の崇拝行為と同じように、ハッジは事前にそれを行う意図を伴って遂行されなければなりません。また、イフラーム[24]と呼ばれる特別な清い衣の着用も必要となります。実際のところ男性はこの時まとう衣（女性にはイフラームにおいて特定の衣服はありません）によって、ハッジやウムラ[25]を行う意図を体現化するところがあるのです。

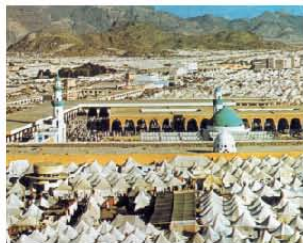
---

[24] イフラームは、ハッジ、もしくはウムラ（小巡礼）を行うという意志を持った上で入る神聖な状態のことをいいます。男性は縫い目の無い布をへそ上、ひざ下までの腰部を覆い、もう一枚の布で頭部以外の上半身全体を包みます。縫い目のある衣、靴下、または靴を着用することは認められません。履物としては、スリッパかそれに近いものであれば着用することが許されています。他の禁止事項としては、あらゆる性的行為や、聖地での狩猟などが含まれます。通常の状況では一度イフラームの状態に入れば、ハッジやウムラの巡礼行事を全て終えるまではそれを解くことができません。しかし自身の健康状態の悪化や、敵の襲来、大きな危険発生への恐れがある場合のみ、ハッジまたはウムラを中断してイフラームを解き、その代償として羊、ヤギ、牛または駱駝の犠牲を捧げることが出来ます。

[25] ウムラは小巡礼とも呼ばれ、年間通していつでもそのためにマッカを訪れることが出来ます。これに含まれる全ての行事はマッカの聖モスク領域内で行われます。またウムラは多くの場合ハッジの巡礼の中にも組み込まれます。これはカアバ神殿を 7 周（タワーフ）し、イブラーヒームの立ち所後方で 2 ラクアの礼拝をし、その後ザムザムの水を飲み、それからサファーとマルワの丘の間を 7 往復（サアイ）し、最後に剃髪か髪の毛を全体的に短くして（女性の場合は髪の毛を頭部全体からまとめ、その先端を少し切るだけ）終了します。

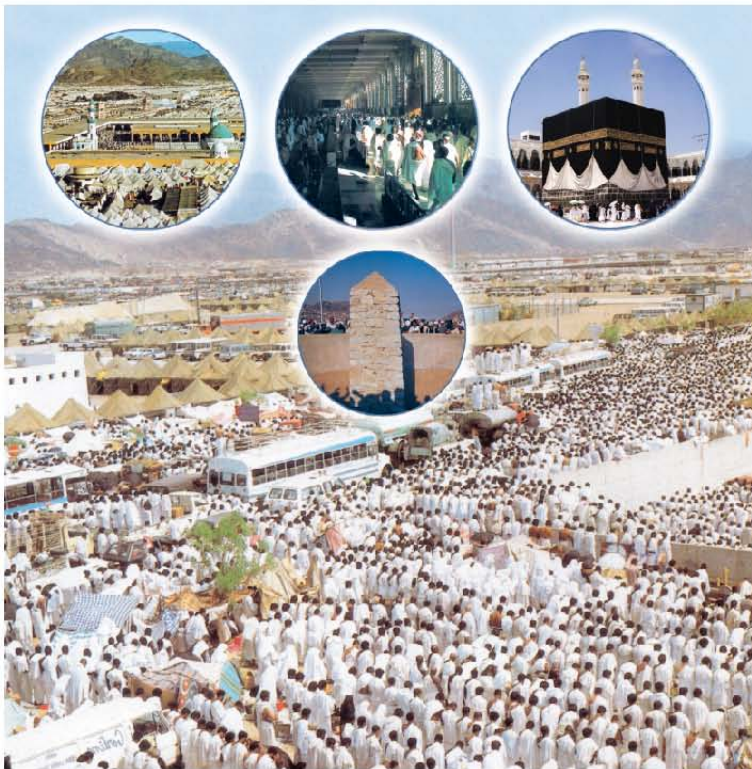
いったんイフラームの状態に入れば、男性は大きな布で上半身を覆い、もう片方でへその上から下半身を覆います。以下に述べる事項は、ハッジやウムラを終了してイフラームの状態を解除するまでは行うことが禁じられています：

1. 髪の毛を含む体毛を抜いたり切ったりすること、
2. 手や足の爪を切る事、
3. 帽子や他の物を頭にかぶること[26]、
4. 香水をつけること、
5. 婚約・婚姻、
6. 性交。

巡礼は、まずカアバ神殿の周囲を7周すること（*タワーフ*）から始まり、サファーとマルワと呼ばれる2つの丘の間を周回すること（*サアイ*）がその後に続きます。ズル・ヒッジャ月の8日目に巡礼者はミナー[27]へ移動し、次にアラファ[28]、そしてムズ

[26] この事項は男性のみに適用されます。

[27] マッカ東方にある巡礼者の宿営地。ハッジを行う者は、その行程においてここに何日か宿営することになる。

[28] マッカ東方に位置する。ハッジを行う者はズル・ヒッジャ月の9日にここに集い、日没まで祈願に専念する。ハッジのメインイベントとも言える場所で、それは預言者（ﷺ）の「ハッジはアラファである。」という言葉からも伺える。

ダリファ[29]へと向かい、その後またミナーに戻り、投石や剃髪[30]、そして羊、ヤギ、牛またはラクダなどの家畜の犠牲など決められた儀礼を行った後、更にタワーフをして基本的な行程を終了します。

[29] やはりマッカ東方に位置する台地。アラファで日没を迎えた巡礼者たちは、そこからここへと移動する。そして夜をここで宿営した後、ズル・ヒッジャ月10日の夜明け前の礼拝をし、日の出前にここを去ってミナーへと戻る。

[30] 男性は剃髪か、頭部全体から髪の毛を均等に短くする。女性は髪の毛を頭部全体からまとめ、その先端を少し切る。

信仰箇条

信仰箇条は、あわせて６つあります。

１．アッラー（ﷻ）を信じること、

２．かれの諸天使を信じること、

３．かれの諸啓典を信じること、

４．かれの諸預言者を信じること、

５．終末の日を信じること、

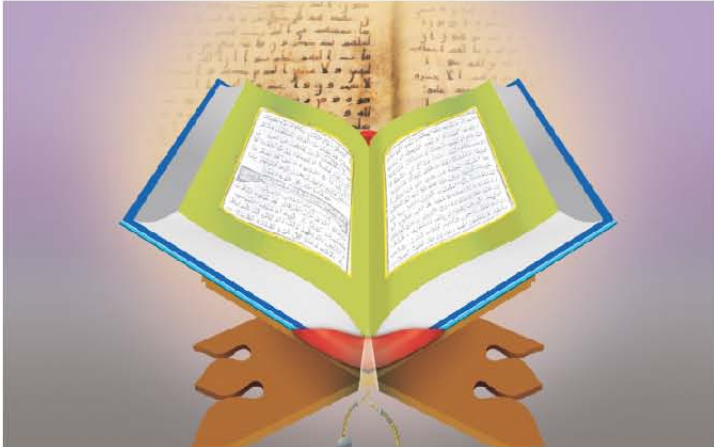
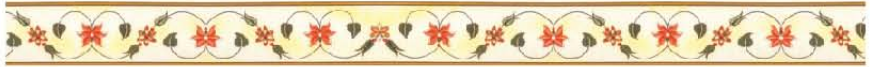
６．運命を信じること［定命（カダー）と神意（カダル）］

アッラー（ﷻ）を信じること

この信仰箇条の意味は、アッラー（ﷻ）を唯一の神とし、崇拝の対象とし、またかれこそが創造者であり、維持者であり、かれにより生が与えられ、死が引き起こされ、かれの属性や御名が唯一無比であると信じることです。

かれの諸天使を信じること

アッラー（ﷻ）は天使たちを光よりお創りになりました。かれらはアッラー（ﷻ）に仕える名誉ある僕たちで、かれに服従し、かれの命令を遂行します。アッラー（ﷻ）はかれらをこう説明されています：

﴾かれらはアッラーの命じられたことを絶対に背かず、言い付けられたことを実行する。﴿（66：6）

アッラー（ﷻ）はかれを崇拝させる為にかれらを創造し、かれらの数はアッラー（ﷻ）のみがご存知です。かれらの内知られているものは：

* 聖なる啓示をアッラー（ﷻ）の預言者、使徒たちに届けたガブリエル、
* 雨を司るミカエル、
* 人間の魂を集める役割を与えられた死の天使、
* アッラー（ﷻ）の玉座を支える天使たち、
* 天国と地獄の番人たち、などがいます。

かれらの他、人間を護る役割の天使たち、人間の行動や発言を全て記録する天使たちや、その他諸々の役割を与えられている天使たちが存在しています。

かれの諸啓典を信じること

かれの諸啓典を信じる事とは、至高なるアッラーが複数の啓典を預言者たちに啓示し、彼らの民に伝えたことを信じることです。それらの啓典はアッラー（ﷻ）の御言葉により形成されています。それらは啓示された時点では疑いもなく純潔だったのですが、その後新たに啓典が啓示されると先行のものは廃止されました。以下に示すものは存在の知られている啓典です：

1．トーラー：モーゼ（ﷺ）に啓示されたアッラー（ﷻ）の書

2．詩篇：ダビデ（ﷺ）に啓示された書

3．福音：イエス（ﷺ）への啓示

現在、キリスト教徒とユダヤ教徒の手によって保存されている啓典としてのトーラーや旧約・新約聖書には手が加えられ、改変・歪曲されているので正統性はありません。その上、それらはアッラーの最後の啓典クルアーンによって廃止されているのです。

クルアーンとは、アッラー（ﷻ）の直接の御言葉であり、アッラー（ﷻ）によって、かれの最終の預言者・使徒であるムハンマド（ﷺ）に啓示された、人類への最終啓示です。アッラー（ﷻ）がこの啓示を下されたのはかれのお導きとご慈悲によるもので、全ての事象を明白にするためです。アッラー（ﷻ）はクルアーンをそのまま維持し、歪曲、改竄、いかなる追加や害悪からも護られるとお約束されました。かれは仰られました：

﴿実にわれこそは、このクルアーンを下し、必ずこれを守護するのである。﴾（15：9）

クルアーンは23年間に渡り、預言者ムハンマド（ﷺ）へ必要な状況に応じて断続的に啓示されました。その内の13年間はマッカで、10年間はマディーナでした。クルアーンは114の様々な長さの章（スーラ）に分かれています。

かれの諸預言者を信じること

アッラー（ﷻ）は全ての民に、ただかれのみを崇拝させるべく預言者・使徒たちを遣わされたとムスリムは証言します。この信仰はアッラー（ﷻ）以外に崇拝されている神やかれの代わりに崇拝されているものを破棄することと、また全ての使徒は誠実であり彼に課された義務を最高の形で果たしたと信じることを伴います。アッラー（ﷻ）は数々の使徒を遣わされましたが、その正確な数はアッラー（ﷻ）のみがご存知です。全てのムスリムはこれまでの全預言者、使徒を信じることを義務付けられ、その内のひとりでも否定する者は彼ら全員を否定する事になります。アッラー（ﷻ）の遣わされた最初の使徒はノア（ﷺ）であり、最後はムハンマド（ﷺ）でした。アッラー（ﷻ）はこう言われています：

﴾そしてわれは、各々の民に一人の使徒を遣わして「アッラーに仕え，ターグート[31]を避けよ」と命じた。﴿（16：36）

全ての預言者と使徒は人間でした。アッラー（ﷻ）は彼らを預言者や使徒と任命することで他の者たちと区別し、彼らをその奇跡で援助されました。彼らは神的性質を有することはなく、未知の世界に関しての権限もありませんでした。しかしアッラー（ﷻ）はムハンマド（ﷺ）を全人類に遣わし、こう仰られました：

﴾言うがいい（ムハンマド(ﷺ)よ）：「人々よ、私はアッラーの使徒として、あなたがた全てに遣わされた者である。」・・・﴿（7：158）

---

[31] ターグートとはアッラー（ﷻ）以外に、もしくはその代わりに崇拝されている何かを表すものです。

全ての使徒のうち、アッラー（ﷻ）の命令を遂行するために最も努力し、確固たる決意を持っていた 5 人がいます。それはノア、アブラハム、モーゼ、イエス、そして最後の使徒であり人類の歴史上最良であり、またそうあり続ける人間であるムハンマド（ﷺ）です。

定命を信じること

ムスリムは、アッラー（ﷻ）もしくはかれの使徒（ﷺ）により伝達された、全ての死と来世的事象についての真実性を証言します。アッラー（ﷻ）はかれの創造物を無駄に創られた訳ではありません。かれは人間とジンを、かれを崇拝するために造られ、それらの創造物の内かれと使徒たちに従った者にはその報酬として楽園を約束され、かれもしくはかれの使徒に背く者には罰として地獄を用意されました。かれは全宇宙に一定の期限を設けられ、その最後を終末の日としました。終末の日には、全ての人間が現世での行いについて問われます。それらは秤にかけられ、善行の積み重ねが悪行より重ければ成功者となりますが、悪行が善行よりも重い場合には、地獄の刑罰を宣告されます。イスラームは、善行を認められる為の前提条件となるのです。

終末の日の前には、小さな前兆と大きな前兆が見られるようになります。ほとんど全ての小さな前兆はこれまで既に現れています。それらに含まれるのは、預言者（ﷺ）の派遣、速い時間の流れ、高い建造物を建てる羊飼いたちの競争、また酒類の消費の流布、姦通、その他の悪習の横行などです。

大きな前兆としては、自分を神と名乗る偽キリストの到来が挙げられます。彼には地球を自由に横断できる能力がありますが、マッカとマディーナの 2 大聖都だけには進入することが

出来ないとされています。2 つめの大きな前兆として、イエス(ﷺ) の天からの降臨があります。彼は偽キリストを殺し、他に豚を殺すなどの行為を行い、そして一定の期間を地上で生活し、ムスリムたちは彼の葬儀礼拝を執り行ってその遺体を埋葬します。3 つめの大きな前兆は、ゴグ、マゴグという人類の 2 大国家出現により地球上での大破壊が起こり、最終的にアッラー（ﷻ）は彼らに滅亡をもたらします。

最後に起こる大前兆は、全創造物の終結の始まりとして、太陽が西から昇ります。そしてラッパの音が鳴り響き、この世は終わります。次のラッパが鳴ると、審判を受けるために全ての創造物は死から甦り、集められます。この日は 5 万年続くといわれ、人間は裸で割礼のされていない、生まれたままの状態で立ち続けます。その結果彼らは大いに憔悴し、各々は犯してきた悪行の量に応じた自らの発汗の中に沈んで行きます。ある者はくるぶしまで、ある者は膝まで、またある者は腰や胸、そしてある者は口の高さまでその中に浸かります。人々はその日使徒たちに執り成しを頼みますが、これまでのいかなる使徒も彼らをそこから救う事はできません。それで偉大な使徒たちからの執り成しを断られ、最終的にムハンマド（ﷺ）の元に行き着き、彼に彼らの執り成しを嘆願します。彼は全預言者と使徒の代表としてアッラー（ﷻ）へ執り成しを申し入れ、そして清算は始まりますが。そしてアッラー（ﷻ）は彼の執り成しを受け入れるのです[32]。

審判後には各人は自分の記録を受け取ります。それを右手に受け取る者は成功者として楽園へ入ることを認められますが、左手もしくは背後からその記録を受け取る者には破滅がもたら

---

[32] 預言者ムハンマド（ﷺ）には審判の日、様々な種類の執り成しを行います。天国の民が本来彼らの行いに値する以上の位階まで上げられるよう執り成したり、あるいは地獄に入ったムスリムを救出したりします。

されます。地獄の上には糸より細く、刃より鋭い橋が掛けられています。皆この橋を渡らなければなりませんが、渡る事に成功する一部の者たちを除き、残りは地獄の中へと堕ちて行きます。

天国の特徴：

天国は信仰する者たちの住まいとしてアッラー（ﷻ）が用意されたもので、アラビア語ではジャンナといいます。その中にはこれまで誰も見たことがなく、聞いた事もなく、人間の想像力では想像も及ばないような永久かつ至福の喜びが存在します。そこには純粋な乙女達が連れ添い、乳、蜜、酒などで出来た川が流れ、美味なる全ての果実や肉に恵まれます。その住人は疲れや退屈さ、死を味わうことがありません。

地獄の特徴：

地獄とは、アッラー（ﷻ）がかれとかれの使徒たちを拒んだ不信仰者の住まいとして用意されたものです。そこにある食物は耐えられないほど苦く、飲む物といえば地獄の住人の皮膚からしみ出る膿汁です。そこは計り知れない深さで、不信者や偽善者はそこに永遠に留まることになります。

運命を信じること［定命（カダー）と神意（カダル）］

定命（カダー）とは、一般的なアッラー（ﷻ）のご意思のことであり、例として全ての人間はいずれは必ず死ぬという事柄などに代表されます。一方の神意（カダル）は特定されたアッラー（ﷻ）のご意思もしくはご意向で、例えば特定の人物が特定の日時と場所において死ぬといったことなどのことです。それゆえこの信仰箇条を信じることは、アッラー（ﷻ）が全てを創造した際、事前に全ての運命を各々に適した尺度で定められたと確信することを伴います。

カダルの様々な側面

1．アッラー（ﷻ）は全ての出来事の全容を熟知され、かれの知識は全てに及んでいること。

2．アッラー（ﷻ）は全ての出来事が記された書をお持ちになっていること。

3．アッラー（ﷻ）のご意思なしには天地どこにも物事が発生することはなく、また何事もアッラー（ﷻ）がお望みになれば発生し、お望みでなければ発生しないということ。

4．アッラー（ﷻ）は全ての創造主であり、かれ以外の創造者は存在しないこと。

衛生作法

イスラーム法は、個人の私的及び公的な生活に渡ってその立ち居振る舞い、礼儀作法、思想と意図を正し、身体や衣服、食料、環境の清浄・清潔さを保障します。

イスラームの衛生作法には他の宗教に比べ、一種独特な側面があります。イスラームでは衛生が個人の意向に任せられているのではなく、宗教的必須事項として沐浴（ウドゥー）という行為が礼拝前に課せられているからです。ムスリムは身体と衣服を清潔にし、純粋な心と気持ちで毎日最低 5 回の義務礼拝を捧げます。また礼拝は清純な意図を持ち、清浄な場所で行われなければなりません。これらの行為を繰り返す事によって得られる有益な影響や結果の恩恵は容易に解することができるでしょう。その他性交後や月経が明けた後には、シャワーや入浴も義務付けられています。

衛生的行為としては虫歯や歯周病、口臭予防のため歯を清潔に保つこと、手や足の爪を短くそろえること、口ひげをきちんと整えることや、脇毛や陰毛を刈ることも求められています。これらの要求箇所はイスラームというものが精神面だけでなく、肉体的健康における要求も満たすことを証明しています。

イスラームにおける女性と家族

イスラームは女性に、未来の世代を育成する役割という栄誉を与えました。イスラーム以前の女性は家財道具のように扱われ、長男が父の妻たちを相続するといった現象が見られるまでに彼女たちの権利は蹂躙されていました。またイスラーム以前の時代には女児が生まれたら生き埋めにされる、といったような悪習も蔓延していました。他地域の文化でも、女性は人間以下の存在といった思想は存在していました。

イスラームでは女性に名誉を与えるだけでなく、功績と報酬に関して男性と同等であるとみなします。アッラー（ﷻ）は人間の性別ではなく、その人個人の篤信さを真の人間的価値における優劣の基準としました。かれはこう仰られました：

﴾ 人類よ、われは 1 人の男と 1 人の女からあなた方を創り、種族と部族に分けた。これはあなた方を、互いに知り合うようにさせるためである。実にアッラーの御許で最も貴い者は、あなた方の内で最も主を畏れる者である。﴿（49：13）

アッラー（ﷻ）は女性に財産を所有し、それを自らの判断で自由に使用できる権利を与えました。というのも女性は自己のアッラー（ﷻ）に対する責任を知っているからです。たとえ妻がある程度の財産を所有していても、男性の家族に対する扶養の義務は変わりません。夫は妻の財産の所有権がありませんし、妻が彼女自身の希望によるものでない限りそれを受取ることも出来ません。他にもアッラー（ﷻ）は子が親に対して親切であるよう命じられ、両親に偉大な地位を与えられました。アッラーは仰られました：

﴾あなたの主は命じておられる。かれ以外の何者をも崇拝してはならず、また両親に孝行することを。もし両親かまたそのどちらかが、あなたと一緒にいて老齢に達しても、彼らに対し荒い言葉を使わず、親切な言葉で話しなさい。﴿（17：23）

アッラー（ﷻ）はかれのみを崇拝ことととともに、子供が両親に親切に接するよう命じられました。この節はイスラームにおいて名誉ある親の地位を示しています。しかしながら、母親はそれ以上の敬意と親切を受けるに値する、と次に示す伝承は教えています：

“ある男がアッラーの使徒（ﷺ）に訊ねた。「私は誰に最も優しく接すべきですか？」彼は答えた。「あなたの母親です。」更に男は訊いた。「その次は誰ですか？」彼はまた答えた。「あなたの母親です。」男は更に2度同じ質問をしたが、預言者（ﷺ）は同じように答えた。そして4度目になって、ようやく彼はこう答えたられた。「それからあなたの父親です。」”

女性の服装規定

ムスリムでない人々にとって、女性の服装規定に関する問題は常なる議論の的になっています。しかしその原因は、イスラームの本質に対する無知から来ているのです。彼らは、ムスリム女性は家に閉じ込められ、権利を奪われていると主張します。それは彼らが、彼らの女性たちが以前その自由の拘束に対して反旗を翻し、自分自身を過去の足かせから解放したという、彼ら自身の文化的歴史観からムスリム女性を見ているからなのです。これはむしろ、ムスリムではない女性の自民族中心主義的な思想に由来していると思われます。更にこれは、西洋人女性が過去や現在において尚、真の意味での自由を経験していないという理由から来ているものなのです。

太古の時代から中世、ルネッサンスと産業革命を経て現在の科学技術の時代まで、彼らはいわゆるひとつの奴隷のような状態から自らの意思で究極の自由へ移行していると思い込みながら、実は別の形態をしたもう 1 つの奴隷の状態に向かっているだけなのです。彼女たちは、平等を要求して家から飛び出しました。そして自己の体格の限界や特定の目的に対する特定の機能を授けられているという事実を無視して、男性の集団へ強引に入り込みました。その結果は、西洋の家族の荒廃にはっきりと見て取れます。

イスラームで女性がヴェールを被っているのは、文化的慣習でも太古の文化や文明の遺産でもありません。適切に言えば、人類を創造した唯一神の制度なのです。かれの限りない叡智がそうすることを女性に課したのです。

男性と女性は性的欲求を与えられています。アッラー（ﷻ）は特定の規則と予防策でこれらの欲求を抑制し、それにより後世の子孫の保護と正しい男女関係の維持のために、男女双方のあらゆる不義な関係を防止されているのです。それらの規則や予防策の遵守は、健全な家族と社会への建設へと導きます。

結論

イスラームはアッラー(ﷻ)が人類のために選ばれた宗教です。かれは仰られました：

《アッラーにより受け入れられる教えこそは、イスラームなのである》(3：19)

これはこのメッセージが普遍的なことを意味しています。この事実により、人間は全ての世代や生活習慣に適する新しい法をその都度開発したり工夫させる必要がないのです。イスラームは人間の社会的・政治的・経済的、その他人間のあらゆる生活面に影響を与える、1つの生き方なのです。イスラームは全ての問題を、その性質や実態に関わらず解決します。これはアッラー（ﷻ）がムハンマド（ﷺ）を選び、彼を通して人類に伝えた神のメッセージなのです。かれはまた、かれの最終啓示であるクルアーンを決して変更されないよう形成し、人類に啓示しました。

この冊子を読んで、あなたはイスラームの主な信条を知ることができたと思います。選択肢はあなたにあるのです。全ての人間はこの世で同じ結末を迎えますが、どの道を選ぶかで来世の行き先は決まってくるのです。

最も慈悲深く、不正とはかけ離れておられるアッラー（ﷻ）はこう仰られました：

《われが（ある民に）1人の使徒も遣わすことなく懲罰を下すことは決してない。》(17：15)

われわれがあなたのためにこのメッセージを用意したのは、ひとえにわれわれのあなたに対する懸念からなのです。

﴾これこそは,疑いの余地のない啓典（クルアーンのこと）である。この中には、主を畏れる者たちへの導きがある。［主を畏れる者たちとは、アッラー（ﷻ）を愛し(つまりかれの定められたあらゆる善行を行う事)、かれを畏れる（つまりかれの禁じられたあらゆる罪や悪行から身を遠ざける事）敬虔で誠実な人々の意］。﴿（2：2）

﴾アッラーはあなたがたのためにこの（真実の）教えを選ばれた。だからムスリムでなくして死んではならない。﴿（2：132）

﴾イスラーム以外の教えを追求する者は、決して受け入れられない。そして来世においてこれらの者は失敗者の類である﴿（3：85）

﴾今日、われはあなた方のために、あなた方の宗教を完成し、またあなた方に対するわれの恩恵を全うし、あなた方のための教えとして、イスラームを選んだのである。﴿（5：3）

﴾実にアッラーとかれの使徒たちを信じずに、アッラーとかれの使徒たちの間を分けようと［つまりアッラー（ﷻ）を信じても、かれの使徒たちは信じない］欲して「私たちはその内のある者たちは信じるが、他のある者たちは信じない。」と言い、その中間に1つの路を得ようと欲する者たちがいる。﴿（4：150）

﴾かれこそは導きと真理の教え（イスラーム）をもって使徒［ムハンマド（ﷺ）］を遣わし、たとえムシュリクーン（多神教徒、無神論者、偶像崇拝者などアッラーの唯一性における不信仰者）が忌み嫌おうとも全ての宗教を超越するのである。﴿（9：33）

﴾アッラーがその胸を開いてイスラームへと導き、主からの御光を受けた者が（ムスリムでない者と）同じであろうか？　アッラーの啓示を頑なに拒む者に災いあれ！それらは明らかに心迷える者である！﴿（39：22）

﴾かれこそは導きと真実の教え（イスラーム）をもって、それを全ての宗教の上に宣揚するため、かれの使徒［ムハンマド（ﷺ）］を遣わされた方。本当にアッラーは立証者として万全であられる。﴿（48：28）

﴾人類よ、あなた方そしてあなた方以前の者を創られた主（アッラー）に仕えなさい。それによりあなた方はムッタクーン（主を畏れる敬虔な者）となるであろう。﴿（2：21）

﴾彼こそはあなた方のために大地を拠所とし、また大空を天蓋とされ、天から雨水を降らせ給い、それによってあなた方のために糧として種々の果実を実らせられる方である。だからあなた方は（かれのみが崇拝される権利があると）知った上は、アッラーに同位者があるなどと唱えて（それを崇拝して）はならない。﴿（2：22）

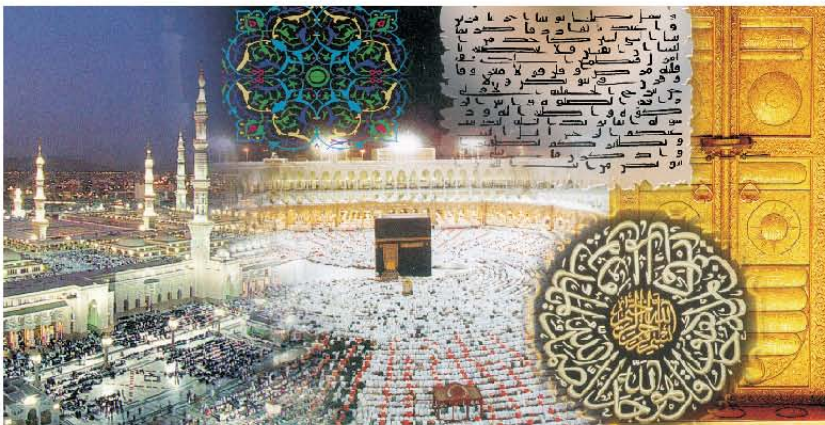
アブドッラー・ビン・アムル（ⓡ）は語った：ある男が預言者（ﷺ）に訊ねた。「最も優れたイスラームの特質は何ですか？」預言者（ﷺ）は答えた。「他者に食べ物を与え、知る者にも知らない者にも挨拶することだ。」（アル＝ブハーリー、ハディース第11番）

アブー・サイード・アル・フドリー（ⓡ）は語った：アッラー（ﷻ）の預言者（ﷺ）は言った。「もしある者がイスラームを心から受け入れれば、アッラーは彼の全ての過去の罪をお赦しになり、彼の（善悪の行為に関する）記録はその後に始まるだろう；彼の善行は1つにつき10倍から700倍の報酬があるが、1つの悪行はアッラーがお赦しにならない限り、そのまま1つとして記録される。」（アル＝ブハーリー、ハディース第39番）

アブー・フライラ（ⓡ）は語った：アッラーの預言者（ﷺ）は言った。「全ての子は*フィトラ*（真のイスラーム信仰）に基づいて誕生するが、彼の両親が彼をユダヤ教徒やキリスト教徒やゾロアスター教徒へと変えてしまうのだ。それはちょうど動物がその子を産むようなものである。あなた方は、それが飼い主によって耳を切られた状態で生まれてくるのを見たときがあるか？[83]」それからアブー・フライラ（ⓡ）はクルアーンの聖なる節を唱えた：“アッラーが人間に定められた*フィトラ*に基づいて。アッラーの創造（本来正道、つまりイスラームの道にある）に、変更を加えるべきではない。（アル＝ブハーリー、ハディース第1359番）

---

[83] つまり動物は完全な状態で生まれてくるにも関わらず、その飼い主がその誕生後に耳を切る（当時の家畜に対する1習慣）などして生来の形質を変形させてしまうようなものである、ということ。

アブー・フライラ（ﷺ）は語った：アッラーの使徒（ﷺ）は言われた。「私の追従者は、それを拒む者以外みな楽園に入るだろう。」人々は言った。「アッラーの使徒よ！一体誰が拒むでしょうか？」彼は答えた。「誰でも私に従う者は楽園に入り、背く者は拒んでいることになるのである。」（アル＝ブハーリー、ハディース第 7280 番）

ヨハネ　14：15－16―

“あなた方がわたしを愛しているなら、わたしのおきてを守りなさい。わたしは父にお願いし、父はほかの助言者を与えて、彼が永遠にあなた方と共にいるようにくださる。”

ヨハネ　15：26－27―

“わたしが父のもとからあなた方に遣わそうとしている助言者、すなわち父から生じる真理の霊が来る時、彼はわたしについて証言するだろう：あなた方も、はじめからわたしと共にいたのだから、証言するだろう。”

ヨハネ　16：5－8―

“だが今、わたしは自分を遣わされた方のもとに行こうとしている。それでもあなた方のうちのだれも『どこに行こうとしているのですか』とは尋ねない。だが、わたしがこれらの事をあなた方に告げてきたために、悲嘆があなた方の心を満たしている。それでも、わたしはあなた方に真実を告げる。すなわち、わたしが去って行くことはあなた方の益になるのだ。わたしが去って行かなければ、助言者はあなた方のところに来ないからだ。だがわたしが行けば、わたしは彼をあなた方に遣わすことになる。彼はやって来ると世の罪を責め、正義と裁きを認めるだろう。”

ヨハネ　16：12－14―

“わたしには、まだあなた方に告げるべきたくさんの事柄があるが、あなた方は今はそれに耐えられない。しかし、真理の霊が来る時には、彼はあらゆる真理に導くだろう。彼は自分から語るのではなく、何でも自分が聞くことを話すことになるからだ。彼はあなた方に、起ころうとしている事柄を知らせるだろう。彼はわたしの栄光を現わすだろう。彼はわたしのものから受けて、あなた方にそれを知らせるからだ。

ヨハネ　16：16―

“しばらくすると、あなた方はわたしを見なくなる。またしばらくすると、あなた方はわたしを見ることになる。なぜなら私は父のもとに行くからだ。”

［ムスリム神学者たちは、上記の節々でイエスにより彼の後に来る者として説明されている者はアッラーの使徒ムハンマド（ﷺ）以外には当てはまらないと述べています。聖書の中で、イエスが彼の後に来る者として予言した者は「パルカリータ」と呼ばれています。この言葉は後世の通訳・翻訳者により削除され、代わりに「真実の霊」、「助言者」、また「聖なる霊」といった言葉が当てられるようになりました。原文の言葉はギリシャ語で「人々により多大なる称賛をされる者」という意味です。この言葉は（アラビア語における）ムハンマドの意味にぴったりと当てはまります。］